

イギリスの教育の動き— 2004年6月から2005年5月まで—

佐々木毅（国立教育政策研究所）

2004年6月15日(火)2月に発表された今後の学校視察のあり方をめぐる教育水準局 Office for Standards in Education: Ofsted の提案が広い支持を受けていることが、この日発表された新しい報告書『学校との新しい関係』A New Relationship With Schools により確認された。/ デヴィッド・ミリバンド学校水準担当閣外相もこの報告書を歓迎した。16日(水)ミリバンドはバーミンガムで開かれた都市の教育水準を上げる目的のプログラム: 都市における卓越性 Excellence in Cities: EiC の年次大会で貧困や排除などさまざまな問題を抱えた都市の中心地域であるインナー・シティーの学校がプログラムの成果として、他の地域よりも速やかに水準の引上げに成功していると述べた。

7月1日(木)過去最大の268校が10の専門領域におけるスペシャリスト・スクールの地位を与えられた。これでスペシャリスト・スクールの合計は1,954校となり全中等学校の62%を占めることになった。/ 大学に新しい授業料制度を導入する高等教育法案が女王の裁可を得た。8日(木)チャールズ・クラーク教育技能大臣は万人のための卓越性と選択をうたい、あらゆる学校により大きな独立性を約束する子どもたちと学習者たちのための5ヵ年戦略を発表した。/ ミリバンドは2005年の初めに教師向けのテレビ放送が始まるだろうと述べた。/ Ofsted は機構改革や人員の削減を含む2008年までの3年間にわたる再編計画「Ofsted を改善する」Improving Ofsted を発表した。15日(木)政府はいじめと取り組むため50を超える専門的な団体を結集した反いじめ同盟 Anti-Bullying Alliance: ABA を発足させた。16日(金)アラン・ジョンソン高等教育担当閣外相は学位授与権と大学の名称の使用をめぐる最終決定を発表した。20日(火)Ofsted は職業科目における新しいGCSEについて、満足すべき出発を遂げたが、いっそうの改善が必要とされるという最終報告書を発表した。22日(木)一般継続教育およびターシャリー・カレッジにおける第6年級センター方式の教育は経済的ではあるが、16-19歳を対象とする教授と学習の質においてとくにすぐれているわけではない、ただしこの年齢層を教育に引き止める効果は大きいと Ofsted が結論した。27日(火)全国的な教員組合の一つである教職連合会

Professional Association of Teachers: PAT の大会がボーンマスで開かれ、スティーヴン・トゥイッグ学校担当閣外相は現在の教職が「これまでで最善の教師たちの世代」だと賞賛の言葉を述べた。30日(金)Ofsted は最初の自己評価報告書『視察を通じての改善 :Ofsted の仕事の影響力に関する評価』Improvement through inspection: an evaluation of Ofsted' s work を発表し、その活動が全体として教育の改善に貢献し、発展の機会を提供するものであると述べた。

8月12日(木)トゥイッグはサマー・スクールがアテネ・オリンピックを取り上げた活動を行うことを青年の外国語、異文化、スポーツへの関心を増すものとして支持すると発言した。17日(火)Ofsted は体育を重点とするスペシャリスト・スクールと体育・学校スポーツ・クラブ連携戦略 Physical Education, School Sport and Club links strategy に参加する学校が体育に優れた素質を示す生徒たちの援助に貢献しているが、まだ改善の余地があるという報告書を発表した。24日(火)ミリバンドは11歳を対象とするテストの結果が向上しているのは初等学校の教育の改善を示すものであり、イングランドのもっとも貧しい地域の一部の学校が特に改善されていることを示す証拠があると述べた。26日(木)ミリバンドはこの日発表された GCSE の結果が受験者数と好成績を収める生徒の増加を示していたことを歓迎した。31日(火)Ofsted の幼児教育をめぐる報告書『規制を通じての保護』Protection Through Regulation が発表され、大部分の保育施設は政府の水準に合致しているが、そうでない場合には Ofsted がしかるべき措置をとると述べた。

9月6日(月)Ofsted は幼児教育の将来についての提案をめぐる公の協議を開始した。7日(火)クラークは8月に発表された試験の結果が1997年以來の教育の着実な前進を反映するものであるとして歓迎した。10日(金)クラークは教員養成機構 Teacher Training Agency: TTA にあてた書簡の中で教員の専門的な能力の開発と教室での実践の改善の機会を設けることについて述べた。Ofsted は企業教育をめぐる新しい報告書を発表し、企業についての学習が職業および勤労に関連する学習の一貫したプログラムの一部として開発されるべきだと主張した。14日(火)経済協力開発機構 OECD の報告書『一目で見る教育— OECD の指標 2004』Education at a Glance 2004 - OECD Indicators 2004 が発表された。UK における青年の義務教育修了後の達成水準は先進国の中でも高いが、17歳を超えてフルタイムの教育を受ける青年の比率をさらに増加させる必要があることが強調された。15日(水)キー・ステージ1の終わりの7歳で行われる評価をめぐる全国カリキュラムによるテストと教師の継続的な評価を結びつける新しいやり方が全国的に実施されることになったとトゥ

イッグが確認した。16日(木)2003/04年度の児童生徒の年間欠席統計が発表され、1996/97年度よりも4万人も一日あたりの欠席者が増加して記録的な水準に達していることを明らかにした。これは学校への出席を改善する政府の取り組みが成功していないことを示すものでトウイッグは取り組みのいっそうの強化を表明した。22日(水)政府は児童生徒の通学をより環境を汚さず、安全で健康なものにするための学校輸送法案 School Transport Bill を提出する予定であるとトウイッグが発表した。/ ミリバンドは教師が欠勤した同僚の代わりに授業をする時間を年間最大限38時間とする改革の次の段階を歓迎した。27日(月)教員の給与改革をめぐる合意が教員団体と教育技能省の間でなされた(教員組合のうちNUTはこの合意に参加していない。)28日(火)Ofstedの野外教育に関する報告書は野外教育や宿泊の経験が生徒の身体的・人格的および社会的な発達にじゅうような貢献をすることが認識され、学校と宿泊センターにおいて大きな前進がもたらされたにもかかわらず、一部の学校は事故の危険を考えすぎて依然として消極的な態度をとっていると指摘した。

10月12日(火)Ofstedは政府の修正された統合の枠組みの結果として多くの主流の学校が特別の教育的ニーズ(SEN)にこたえるよう努力しているとの報告書を発表した。16日(土)クラークは2004年の高等教育法によって設置されることになった高等教育公正入学事務局 Office for Fair Access to Higher Education: OFFAの所長にマンチェスター大学の副総長であったマーティン・ハリス卿を任命したと発表した。18日(月)前首席視学官マイク・トムリンソン卿を座長とする14歳から19歳までの教育の将来に関する作業集団による報告書が発表され、クラークは報告に基づいて白書を作成すると述べた。21日(木)ミリバンドは都市の不利益を受けている地域におけるGCSEおよびGNVQ試験の成績における継続的な前進を歓迎した。/ トウイッグはロンドンにおけるGCSEおよびGNVQの結果の継続的な前進を歓迎した。22日(金)地方教育当局による音楽事業は音楽家の卵の育成に役立っているが、低所得の家庭出身の児童生徒は楽器に触れるチャンスが少ないなどの問題がまだあるとの報告書をOfstedが発表した。25日(月)クラークはOFFAの新しい所長に職務権限について指示を与える公式の書簡を送った。28日(木)クラークはQCAとDFESが宗教教育の改善のために開発した、法的な拘束力をもたない全国的な枠組みを公表した。29日(金)Ofstedは7歳から14歳までの年齢層を教えるためのコース・デザインの明瞭性が欠けていることがこの年齢層を教える教員の養成に影響を及ぼしているとの報告書を発表した。

11月1日(月)Ofstedによる幼児期の視察方法の変更をめぐる協議の結果がまとま

り、自己評価を取り入れたより簡単な視察が 2005 年 4 月から実施されることになった。2 日 (火) キム・ハウエルズ生涯学習・継続高等教育担当政務次官は継続教育の学習・技能部門における教員養成の改革について発表した。/ クラークは中等学校への入学に際しての実施細則をめぐる下院教育技能特別委員会の報告書を歓迎し、今後アカデミックな選抜の拡大は望まないと言明した。12 日 (金) Ofsted は中等学校における市民性を担当する教員の養成が全般的により状態にあるが、改善すべき点も残されているとの報告書を発表した。15 日 (月) クラークは今後 5 年以内にイングランドのあらゆる学校が海外の学校と姉妹校になるという国際教育交流の計画を発表した。デヴィッド・ベル首席勅任視学官は英国の青年がグローバルな市場で競争するためのスキルを身につけることが必要であると述べて、職業教育の重要性を強調した。16 日 (火) クラークは継続教育カレッジ連合会 Association of Colleges : AoC の大会で継続教育カレッジ部門の量的な拡大を賞賛し、部門の今後の発展にとって雇用主が重要な役割を演じるとの見解を示した。17 日 (水) ミリバンドは夏に行われた 14 歳を対象とする英語のテストの結果が継続的な改善を示していることを歓迎した。/ クラークは青年に企業教育の一環として革新、創造性、危機管理のスキルとビジネスについての理解を与える教育のためのガイダンスを発表した。18 日 (木) クラークは学校における生徒の行動の改善を目指す一連の方策を発表した。19 日 (金) 国際生徒学習到達度調査 Programme for International Student Assessment : PISA の 2003 年に行われたテストの結果が 12 月 7 日に発表されることになったが、UK については結果の回答の水準が OECD の要求を下回ったために含まれないことが明らかになった。22 日 (月) 学校におけるいじめに反対する週間が DfES の支持のもと、BBC ラジオ・ワンと反いじめ同盟 Anti-Bullying Alliance によって開始された。いじめ反対の青いリストバンドが大量に出回った半面で、リストバンドをつけている子どもたちがいじめの対象になるなど成果をめぐる賛否両論がある。23 日 (火) Ofsted はその再編計画の次の段階を明らかにした。24 日 (水) ベルは学校と地理学関係者にこの教科の低落傾向に歯止めをかけるよう勧告した。25 日 (木) クラークはスペシャリスト・スクールが地方のネットワークと協力して全体の水準の引上げにかかわるといふプログラムのいっそうの発展段階について説明した。/ ロンドン大学インスティテュート・オヴ・エデュケーションを中心とする就学前教育に関する長期研究グループの研究成果がまとめ、幼児教育を受けた子どもたちのほうが 7 歳の時点において優れた成績を示すことが明らかになった。26 日 (金) Ofsted は宗教教育をめぐる宗教教育助言常置協議会 Standing Advisory Councils for Religious Education (SACREs)

の取り組みについての報告書を発表し、宗教教育のシラバスは地方によって質に差があり、SACREs は宗教教育における達成の引上げに十分に焦点を当てていないと指摘した。27日(土) マーガレット・ホッジ児童担当閣外相はロンドンに新たに22箇所の児童センターを設置することを発表した。29日(月)Ofsted は継続教育をめぐる2つの報告書を発表し、バーミンガムよりも北の地方に比べて南の地方の継続教育カレッジに問題を抱えたものが多く、それらのすべてが普通教育を行うカレッジであること、国内の優れた教育を行っているカレッジの60%が第6年級カレッジであることを明らかにした。ハウエルズはこの報告書が今後の継続教育改革の方向性を示すものだと評価した。/保守党のマイケル・ハワード党首は同党が政権に就けば学校内における生徒の規律の乱れに対して断固たる措置をとることを公約した。/QCAのケン・ボストン事務局長は試験の答案における文法的な間違いも採点の際に考慮すべきだという意見を述べた。

12月1日(水)政府の各省庁は子どもに関連する事業の地方における変化をめぐる枠組みである『あらゆる子どもが大事だ—子どもたちのための変化』Every Child Matters : Change for Children を発表した。/クラークは学校視察制度の変化、3年制の学校予算などの内容を盛り込んだ教育法案を公表した。ベルはこの法案を歓迎した。/全国仕事量協定の結果として多くの学校で事務的雑用が減少したが、多くの校長が彼らの仕事量が増えたと思っていることがOfstedの新しい報告書で明らかにされた。/クラークはイングランド高等教育財政委員会 Higher Education Funding Council for England : HEFCE に国家の戦略上重要性を持つ高等教育のコースを保護するためにはどうすればよいかについての助言を探るように書簡で要請した。2日(木)ミリバンドは副首相府が推進する地方行財政改革の中で地方政府に暫定的に財産授与が行われることを歓迎した。/トゥイッグは初等学校における成績を示す数値が改善されると述べた。/ベルは2005年から3年間にわたるOfstedの組織をめぐる戦略計画の発表を機に、機関の将来の課題について概観した。6日(月)イヴァン・ルイス技能・職業教育担当政務次官は成人がリテラシー、言語およびヌメラシーの学習へと復帰するための戦略を発表した。/0歳から19歳までの教育、社会および保健事業をめぐる視察の統合をめぐる協議文書がOfstedを含む関係部局により発表された。8日(水)ホッジは2005年4月から数千人の親たちが保育者に対する費用の支払いのための財政的援助を受けることができるようになったと発表した。/クラークは全国数学教育卓越性センターの設立に向けての第一歩を発表した。9日(木)クラークは高等教育独立審判官事務局 Office of the Independent Adjudicator for Higher Education

: OIA の局長に書簡を送り、OIA に学生の不満のレビューと法的な支援に対する責任を割り当てた。

10日(金)Ofstedは学校に在学していない子どもたちに対する支援は貧弱であり、彼らが社会的排除を通じて直面している不利益を増幅しているが、地方の児童基金パートナーシップによる取り組みがこれに有効に対処しているとの報告書をまとめた。これを受けて、トウイッグは問題行動と取り組み、問題を抱えた生徒たちに実際的な教育を提供するために元軍人たちによって取り組まれるスキル・フォース計画にDFESが今後3年間7百万ポンドを出資することを発表した。/『タイムズ高等教育版』は世界の大学における科学研究の順位表を発表したが、1位がケンブリッジ、2位がオックスフォード、10位に(ロンドン大学)インペリアル・カレッジが入った。14日(火)ブレア首相は学校スポーツを対象とする5億ポンドの援助を明らかにした。/ルイスはヤング・アプレントイスの1,000人の定員が充足されたこと、さらに2,000人の14歳が2005年9月から訓練を始める予定であることを発表した。/トウイッグはこの日発表された国際数学理科学習の傾向Trends in International Mathematics and Science Study : TIMSSにおいてイングランドの初等学校児童の成績が最善のグループに入っていたことを歓迎した。/Ofstedは新しい報告書『目的と楽しみのための読み方—初等学校における読み方の評価』Reading for purpose and pleasure — an evaluation of reading in primary schoolsを発表し全国リテラシー戦略の導入以来読み方の水準は相当に上がっているが到達度の違いは広がっており、中央および地方政府による早急な取り組みが必要であるとの認識を示した。15日(水)ルイスはこの日発表された全国会計監査事務局の成人のリテラシー、ヌメラシー、言語についての報告書が75万人の成人のスキルを改善するという政府の目標を達成したと確認したことを歓迎した。16日(木)ルース・ケリーが教育技能大臣に任命された。前任のクラークが内務大臣に任命したあとを受けたものである。またトウイッグが学校水準担当閣外相に、デレク(D)・トウイッグが学校担当政務次官に任命された。/Ofstedは地方教育当局の星印による評価を発表し、前年の42箇所を上回る55箇所のLEAが三ツ星の評価を得た。トウイッグは全体としての改善傾向を喜ぶ談話を発表した。/OfstedはEiCプログラムの拡張の全般的な影響を評価し、特に個々の児童生徒に及ぼす影響に焦点を当てた報告書を発表し不利益を受けている地域の児童生徒の教育的な達成が改善されていると評価した。17日(金)『タイムズ教育版』の調査によるとイングランドとウェールズの学校の4分の1がこの年のクリスマス・キャロルの式を行わないであろうということが判明した。22日(水)ホッジはスペシャリスト・

スクール・プログラムの新たな発展として、SENをもつ生徒のコミュニケーションと相互交流、認知と学習などの新たな専門領域を引き受ける12校の開拓的な特殊学校が選ばれたと発表した。30日(木)ハウエルズは2005年9月から高等教育に在学するパートタイムの学生たちに対する財政的な支援を増額すると発表した。

2005年1月7日(金)Ofstedはイングランドのこれまでの視察により優れた評価を受けてきた234校の学校とカレッジをインターネット上で学校の名誉の殿堂ともいふべき一覧表に示して賞賛した。13日(木)トゥイッグはインナー・シティーの学校がGCSEとそれに相当する試験で引き続き前進を遂げていることを賞賛した。17日(月)Ofstedは独立学校視学団Independent Schools Inspectorate(ISI)が前年にOfstedによってなされた勧告の多くに基づいて効果的な視察を行っていることを評価した。Ofstedは生徒と教師の市民性関連の意識調査を行った結果を発表した。一方、ベルは市民性が中等段階でもっとも悪く教えられている教科であることがわかったと述べた。24日(月)週ごとに支払われる新たに設けられた教育維持手当Education Maintenance Allowanceの支払いを受ける資格があり、16歳を越えて教育にとどまっている青年たちがこの週に最初の100ポンドのボーナスを受け取るようになった。25日(火)Ofstedは中等学校における人格的・社会的・保健的教育PSHEをめぐる報告書を発表し、この教科が多くの学校で知識だけの教育にとどまって彼らの態度や人格的発達への影響について判断しようとしていないと指摘した。26日(水)トゥイッグは新たに219校の中等学校がスペシャリスト・スクールの指定を受け、全中等学校の3分の2を超える2,174校がこの地位を得ていることになって2,000校以上という目標を1年早く達成したことを発表した。

2月1日(火)ケリーは少数の児童生徒によって引き起こされる教室内の破壊的な活動に対し学校が断固たる取り組みをすることを支持することを強調した。2日(水)Ofstedは首席勅任視学官の最新の年次報告書The Annual Report of Her Majesty's Chief Inspector of Schools 2003/04を発表し、教育制度が全般的に見て改善を遂げているが、一定数の青年がその可能性を発揮することを妨げている階級的なギャップを克服できていないことを指摘した。報告書によれば美術・デザインが中等学校のナショナル・カリキュラムの中で最も優れた教育を受けている教科であり、英語、歴史、音楽も優れている。また14歳から19歳までの教育については依然としてむらぎ大きいと指摘した。トゥイッグはこの報告書を歓迎する声明を発表した。8日(火)イングランドのサッカー・チームのキャプテンであるデヴィッド・ベッカムがBBCとDFESのいじめ一掃のための行事に参加した。9日(水)トゥイッグは大学のもつ

とも優秀な卒業生を教職にひきつけるプログラムを拡大すると発表した。10日(木)ケリーは学校給食の品質向上のために独立の学校給食トラストの設置と食品処理についてのより厳しい水準の導入を提案した。14日(月)Ofstedと成人学習視学団 Adult Learning Inspectorate : ALI が合同で行った視察の結果、マージーサイドのノウスリーにおける14歳から19歳までの教育と訓練が困難な状況にもかかわらず学習者、雇用主、コミュニティーのニーズにこたえる傑出した成果を挙げているという評価をはじめて受けた。15日(火)ケリーは野外での学習がすべての児童生徒の経験となることを望むと述べた。16日(水)Ofstedはスペシャリスト・スクールに対する第二次の評価 Specialist Schools : a second evaluation を発表し、この種の学校が他の学校に比べて好成績を収め、また改善のスピードも速いと評価した。17日(木)トゥイッグは新しい学校財政の取り決めをめぐる協議文書を発表した。18日(金)トゥイッグは信仰学校が寛容と相互理解を推進し、異なる信仰をもつ児童生徒の包摂と他の学校との協力において優れた実践を示すよう期待した。22日(火)ケリーは教師の給与をめぐる学校教師評価団体 School Teachers Review Body : STRB の第14次の報告書を受けて、給与の構造を変化させて、給与が効果的な教授および学習とより密接に結びつくようにするという意向を述べた。Ofstedは全国リテラシー戦略およびヌメラシー戦略が初等カリキュラムに及ぼした影響をめぐる報告書を発表し、キー・ステージ2におけるリテラシーとヌメラシーが4年間の横ばい状態を脱して上昇を示していること、しかしこれらの戦略のより広い目的の実施には多くの学校が困難を抱えていることを指摘した。23日(水)ケリーは14歳から19歳までの教育の改革をめぐる白書を発表した。一方でGCSEとAレベル試験の「黄金の水準」を維持・促進することをうたい、他方でアカデミックな資質に恵まれない青年のための14歳からの職業教育の強調、アカデミックな教育と職業教育の同格化などの内容を含むが、英国産業連盟 Confederation of British Industry : CBIからは高い評価を受ける一方で、トムリンソンの報告書から後退したもとして教育界の各方面からの激しい批判を浴びた。24日(木)ナショナル・カリキュラムをめぐる統計速報が公表され、アジア系および黒人の児童生徒が2004年の試験において最大の改善割合を示したことが明らかにされ、トゥイッグはこれを歓迎した。

3月1日(火)Ofstedは学校が生徒の破壊的な行動と取り組むのに役立つことを目指して新たな報告書を発表し、その中で生徒の行動に対する教師の経営能力を系統的に訓練する必要性を指摘した。2日(水)ケリーはエインズリー = グリーン教授をイングラントで初めての児童弁務官 Children' s Commissioner に任命したことを発表し

た。/ トウイッグはスペシャリスト・スクール・トラストの行事に参加し、イングランドでは既に 2,200 校が指定を受け、さらに 700 校が指定に向けて準備中であるとしてプログラムの成功を祝賀した。9 日 (水) トウイッグは学校が事務的雑用を減らすことによって児童生徒の成績を後押しする革命的な改革に学校が取り組んでいることを歓迎した。9 日 (水) 2005 年から実施される予定の新しい視察の大綱と学校による自己評価のためのガイダンスが Ofsted により発表された。10 日 (木) Ofsted は英才児を対象としたサマー・スクールの出席が著しく改善されたとの報告書を発表した。11 日 (金) ケリーはすべての初等学校児童がフランス語、スペイン語、ドイツ語などの外国語を学ぶことを目指し、今後 3 年間に外国語の学習と教授を支援する 1 億 1500 万ポンドの援助金を発表した。14 日 (月) Ofsted は 2004 年 12 月 31 日現在で特別の方策の対象となっている学校が 314 校、深刻な弱点を抱えている学校が 302 校、成績不振校の数が 71 校でそれぞれ前回の調査の際よりも減少したと発表した。15 日 (火) D・トウイッグは ICT の学校への普及を通じて個々の児童生徒に応じた学習を推進する新たな学習戦略を発表した。16 日 (水) ベルは Ofsted の視察の範囲がさらに拡大されることを歓迎する声明を発表した。17 日 (木) 政府は児童青少年に及ぼす薬物の影響を減らすための提案を行った。/ トウイッグはこの日公表されたキー・ステージ 3 の学校到達度の票において英語と数学のテスト結果が過去最高であったことを歓迎した。22 日 (火) ケリーはスキルの不足に対処するための新しい白書を発表し成人の職業資格取得援助のための新しいプログラム、技能者レベルの職業訓練における先導的施行、スキル・センターの創設などの構想を明らかにした。30 日 (水) ケリーは学校給食改善のための 2 億 8 千万ポンドの予算を発表した。/ トウイッグはブライトンで開かれた教員組合である全国学校教師連合・女教師組合 NASUWT の大会で演説し、教育改善パートナーシップ Education Improvement Partnerships : EIP を通じて 14 歳から 19 歳までの教育・訓練の充実、学校における行動の改善と保育事業の充実などの課題が達成されるであろうとの見通しを述べた。4 月 1 日 (金) この日から保育所、遊戯集団およびチャイルドマインダーをめぐる視察において、警告がなくなり、四つ星による評価が導入されるなど変化することが Ofsted により通知された。4 日 (月) 特殊学校の建築を改善するための 6600 万ポンドの予算が政府により発表された。5 日 (火) ホッジは 6 日から年収 59,000 ポンド以下の家族は自宅で子どもの保育を受けるための支援として税額控除を受けられる計画が実施されることを発表した。8 日 (金) Ofsted の視察の改革、学校の予算 3 年制、教員養成機構 Teacher Training Agency の権限拡大などの内容をもつ教育法案が

女王の裁可を受け、2005年教育法となった。25日(月)サットン・トラストの委託を受けたロンドン大学政治経済学大学院LSEの研究によるとUKにおける社会的モビリティは先進諸国の中で最低レベルであり、またさらに悪化していると結論された。26日(火)ロンドンのある総合制学校で教師の授業の様子を監視するためにマジック・ミラーを設置したことが教師たちの反発を招いている。27日(水)ケリーは選挙演説の中で授業時間外にも教育活動を行う「拡張学校」の構想を明らかにした。演説中、卵を投げつけられた。/イングランドの中等学校における教室内の混乱を隠し撮りしたドキュメンタリー番組がチャンネルVで放映され、さまざまな議論を呼んだ。28日(木)『インディペンデント』紙の調査により、全国で7万人の子どもたちが第一志望の中等学校に入学できないでいることが判明した。29日(金)NAHTは教師に暴力を振るったり脅迫したりする親たちを持つ子どもを永久に排除する権限を校長に与えることを要求した。

5月5日(木)総選挙の結果は労働党が356議席、保守党が197議席、自由民主党が62議席となり与野党の議席差が縮まった。労働党ではトゥイッグ、保守党では影の教育大臣のコリンズが落選した。10日(火)教育技能省の新しい閣僚チームが発表された。ルース・ケリー教育技能大臣の下に、ジャッキー・スミス(学校および14-19の学習者)、ビル・パメル(生涯学習・継続および高等教育)、ビヴァリー・ヒューズ(児童・青年および家庭)の3人が閣外相、アンドルー・アドニス(学校)、フィル・ホープ(技能)、マリア・イーグル(児童、青年および家庭)が政務次官に就任した。これまで政府の助言者であったアドニスの上院入りして次官となったことが反響を呼んだ。一方保守党のハワード党首はデヴィッド・キャメロンを新たに影の教育大臣に起用した。16日(月)Ofstedは2005年3月31日現在でのイングランドの問題を抱えている学校についてのデータを発表した。特別の方策の対象となっている学校は285校、深刻な弱点を抱えている学校は295校、成績不振校は60校で、2004年12月31日の時点[3月14日の項]に比べてさらに減少した。17日(火)国会における女王演説で親の学校選択の推進が表明された。/政府によって新たに学校給食レビュー・パネルが任命され学校給食の改善をめぐる新たな一歩が踏み出された。19日(木)QCAはAレベルおよびGCSE試験の等級に対する異議申し立てと訂正が増加していると発表した。20日(金)スミスは教室に効果的な規律をもたらし、親たちの子どもたちに対する責任の意識を改善し、すべての学校に尊敬の文化をもたらそうとする行動と規律をめぐる政府に助言を与える専門家集団である行動と規律についてのリーダーシップ集団の設置を発表した。24日(火)スミスはSTRBの第14次の報

告書をめぐる協議の結果について発表した。26日(木)教師の給与と勤務条件を改善するための教員団体と DFES の協定が発表された。Ofsted は 2005 年 9 月からの視察の簡素化に向けてその仕事に協力する 5 つの地域的な視察の提供団体を指定した。

以上、特に記さない限り、イングランドにおける教育の動きである。主として教育技能省 Department of Education and Skills, 教育水準局 Office for Standards in Education のプレス・リリースを使用して作成した。『タイムズ教育版』Times Educational Supplement 「今日の新聞」欄、『タイムズ高等教育版』The Times Higher Education Supplement 「今日のニュース」欄、全国親・教師連合会 National Confederation of Parent Teacher Association: NCPTA のニュース、全国教員組合 National Union of Teachers: NUT のニュースも動向の把握には便利である。とはいうものの例年のごとく、十分な資料を十分に利用できなかった悔いが残る。
佐々木毅 (国立教育政策研究所) 作成